1年目の本音をインタビュー

新規採用職員に聞きました！

【凡例】（入都前の状況・大学時代の専攻分野・現在の職場）
児福：児童相談所（相談援助部門）　保護：児童相談所（一時保護所）　自立：児童自立支援施設　療育：療育センター

東京都を選んだ決め手は？

個々の保護者や子供に寄り添った支援を行うことができ、異動しても子供関連の職に就くことができる。（新卒・保育・児福）

東京都の業務説明会や見学会に参加して、先輩から直に話を聞き、様々な経験ができると思った。（転職・教育・保護）

就職前に不安に思っていたことは？

業務に関する知識がなかったので、具体的な仕事の進め方
→ OJTや研修があるので心配不要でした。失敗したなと感じた時も次に生かし続けることが重要だと感じています。（新卒・保育・療育）

シビアな場面もある仕事なので、精神的につらくなってしまわないか
→ チームの先輩が相談に乗ってくれて一人で抱え込む状況はありませんでした
（新卒・保育・児福）

夜勤・宿直はつらくないですか？

宿直明けの勤務は体力的に大変な時もありますが、夜勤帯勤務は一番時間が作れるため、一人ひとりと向き合うことができる大切な時間です。
（新卒・教育・自立）

日中より職員が少ないので正直不安も。それでも、夜中に行き場のない子供を受け入れられるのは保護所だけであり、とても大事な業務だと思っています。
（新卒・社会福祉・保護）

１週間トータルの睡眠時間を確保し、日々の生活リズムを意識しないようにしてからはつらいとは感じないですね。（転職・教育・保護）

チューターや先輩との関係は？

困ったことがあればすぐに相談できるし、うまくいかなかったときは的確にアドバイスをもらえます。仲の良い先輩と仕事帰りや休日に一緒にでかけることもあります！
（新卒・保育・児福）

支援において何に重きを置いているのか、なぜその方法で支援を行ったのか等細かく教えてくれ、相談した際には、私の立場ならどう対応するかのアドバイスをくれる。
（新卒・教育・自立）

仕事で躓いた時どうやって乗り越えていますか？

本当にいろんな子供がかわるがわるやってくるので対応にはいつも苦労していますが、先輩職員からの助言や、同期の励ましでへこたれずに乗り越えられています。
（新卒・社会福祉・保護）

多職種連携がうまくできていないと感じていたので、周りの人のサポートを受けながら意識的に取り組みました。（新卒・保育・療育）

自分一人では考えすぎてしまうので、同期に悩みを共有したり、自分なりの対処法（体を動かしてストレス発散！）で、乗り越えています。（新卒・保育・児福）

あなたにとって同期はどんな存在？

同じようなことに悩み、苦しみ、ともに乗り越えていった一番近い仲間！
（新卒・社会福祉・保護）

不安や経験を分かち合える心強い存在。同期ができたらぜひいっぱい話をしてほしいです。（新卒・保育・療育）

profile
学生時代の専攻：人間福祉学科
転職前の勤務先：母子生活支援施設
東京都での配属：児童相談所（児童福祉司）

志望動機
前職の担当ケースで、里親宅で一時期を過ごした子供の成長を実感。子供の支援の専門機関である児童相談所に関心を持つ。より多くの対象者との出会いがある場所で仕事をしたいと東京都を志望。

経験者採用の１年目職員 VOICE

経験者採用ならではのやりがい、苦労などはありますか？

もっと早く担当ケースを持ちたい…と焦る気持ちはありました。
それでも、経験があるからこそ研修の重要性もわかるので、
研修で学び直しの機会を得られたことは安心感につながりました。

実際に転職してみて感じた東京都福祉職の魅力、職場の魅力を教えて下さい

たくさんあります！
- 規模が大きく、様々な経験やノウハウを持った先輩や同僚がたくさんいる。
- 研修が充実しており、一から学ぶことも、学び直しもできる。
- 子育てや介護などライフステージの変化に合わせて働き方を見直し、長く働き続けられる。
- 対象地域も広いので、勤務地変更の希望も可能で働き方の幅もある。
- 地域によって特色があり、地域サービスの違いや関係機関との連携の在り方など学びが多い。